

7月の図書館イベント

中央図書館映画上映会(入場無料)

ヒッチコック監督作品

『リッチ・アンド・ストレンジ』

<上映時間:82分>

●日時 8日(金) 開場18:30 上映19:00~

●場所 穂高交流学习センター「みらい」

多目的交流ホール

ドキドキ・ワクワクおはなし会

中央図書館

おはなしのとびら おはなしのへや

6・13・20・27日(各水曜日)

10:30~(乳幼児対象)

おはなしとしゃかん おはなしのへや

16日(土) 10:30~(乳幼児以上対象)

豊科図書館

ちいさいたんぼぼ 多目的室

15日(金) 11:00~(乳幼児対象)

おはなしたんぼぼ 多目的室

15日(金) 16:30~(幼児以上対象)

三郷図書館

ポケットの会 三郷文化公園体育館1階会議室

9日(土) 10:30~(乳幼児以上対象)

堀金図書館

おはなしのへや 絵本コーナー

12日(火) 10:30~(乳幼児以上対象)

16:30~(幼児以上対象)

おりがみのへや 絵本コーナー

27日(水) 16:30~

明科図書館

ひまわりおはなし会 おはなしの部屋

23日(土) 11:00~(乳幼児以上対象)

第7回能面と能装束展

穂高交流学习センター「みらい」
TEL 81・31111 FAX 82・0966

第26回信州安曇野能楽鑑賞会(8月20日(土)開催)に先立ち、能楽師の故青木祥二郎さんと青木道喜さんが使用した能面や能装束などを展示します。見る角度によって微妙にその表情を変える能面や、色鮮やかな染織に刺繍や金銀箔で文様を描いた能装束の数々を間近で観賞することができます。また、過去の信州安曇野新能の記録映像の上映等も行います。

日時 6月29日(水)~8月19日(金) 午前9時~午後9時30分

場所 穂高交流学习センター「みらい」交流ギャラリー

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、8月12日(金)

観覧料 無料



故青木祥二郎さん(観世流能楽師、安曇野市名誉市民)

大人も楽しむ名作児童文学「宮沢賢治からのメッセージ」とともに生きるII

三郷図書館
TEL 76・3078

宮沢賢治の世界に触れて、込められたメッセージを学びましょう。気軽に参加ください。

日時 7月14日(木) 午前10時~正午

場所 三郷文化公園体育館内 健康相談室

対象 一般
講師 酒井倫子さん
絵本美術館「森のおうち」館長

定員 20人(先着順)
参加費 無料
持ち物 なし
申し込み 6月21日(火) 午前

非常勤職員(図書館司書)募集

中央図書館
TEL 84・01111 FAX 84・0116

中央図書館に勤務する図書館司書を募集しています。

応募資格 図書館司書の資格を有する人で中央図書館に勤務できる人

応募人数 1人
勤務条件 図書館業務

勤務内容 図書館業務
雇用期間 8月1日~平成29年3月31日

勤務日 火曜日から日曜日までの週5日
勤務時間 午前8時30分から午後8時30分のうち7時間45分

(土日祝日は午後6時30分まで)
月給 15万4300円(図書館での勤務経験が3年以上ある場合)

日給 7350円(右記以外の場合)
一時金 勤務日数等に応じて支給(最高1・8カ月分)

交通費 通勤距離に応じて支給
その他 健康保険・雇用保険・厚生年金

応募方法 市ホームページから「平成28年度安曇野市非常勤職員申込書」を入手し、必要事項

10時から三郷図書館窓口、または電話で申し込みください。(受付時間は午前10時~午後6時)



豊科図書館チャレンジ講座 七夕(カタリ)人形を作ろう

豊科図書館
TEL 71・4022 FAX 73・1801

古くから松本地方では七夕に人形を飾る風習があります。その中のひこ星とおり姫の橋渡しをする「カタリ人形」を作ります。

日時 7月2日(土) 午前9時30分~正午

記入の上、中央図書館に提出ください。なお、図書館司書資格を証明できる書類を添付してください。(※郵送可)申込書は、図書館交流課窓口でも入手できます。

応募期間 6月21日(火)から7月15日(金)まで

面接 申込書を受付後、日程を調整させていただき、随時面接をさせていただきます。

小中学校の教科書展示会

図書館交流課図書館交流担当
TEL 84・01111 FAX 84・0116

広く市民の皆さんに教科書を知っていただくため県中教育事務所主催による「教科書展示会」を開催します。

期間 7月5日(火)~24日(日)

時間 平日 午前9時~午後8時
土日祝日 午前9時~午後6時

場所 中央図書館内



場所 豊科交流学习センター「さぼう」学習室

講師 三村隆彦さん

参加費 無料

対象 小学生以上

先着 20人(先着順)

持ち物 筆記用具・ものさし

申し込み 6月21日(火) 午前10時から豊科図書館窓口、または電話で申し込みください。



カタリ人形

再発見!安曇野の文化 その51

文化課文化財保護係
TEL 71・2464 FAX 71・2338

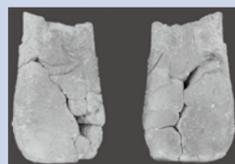
弥生時代の土偶

土偶は主に縄文時代に作られた土製の人形です。現在日本で最も古い土偶は約1万年前に作られたことがわかっていますが、安曇野市で土偶が多くみられるのは約5千年前の縄文時代中期です。この後、縄文時代の終わりまでに土偶の数は減少し、やがて作られなくなりま

ところが、平成26年に穂高南小学校でプール工事の際に遺跡の発掘調査を行ったところ、弥生時代の土偶が出土しました。弥生時代の土偶は珍しく、安曇野市では初の発見です。

発見された土偶は下半身のみで、頭部や上半身、腕は壊れていて見つかりませんでした。また、脚の表現も省略されています。土偶は壊れた状態で出土する例が多いため、土偶を壊すこと自体がまじないの行為であるとも考えられています。将来、この土偶の頭部や上半身が見つかることを願います。

場所: 芝宮南遺跡 (穂高南小学校)



見つかった土偶 (左:正面、右:背面)

おすすめの1冊

ゲーセンで出会った不思議な子の話 宮澤 南 著



紹介する人 井澤颯太さん (堀金・三田)

僕が紹介する本は「ゲーセンで出会った不思議な子の話」という小説です。

主人公の男は、ある日、ゲームセンターで女性に出会います。仲良くなるにつれ、男は女性に心を惹かれますが、女性はある過去と秘密を持っていました。女性は病気で余命1年と宣告されていました。男は、女性の母親に「君は最後まできくと、あの子のそばにいてあげてね。」と言われます。5日間の外泊許可をもらった男は女性と色々な場所へ行き、思い出話をして、約束の日が終わってしまいます。そして、その年のクリスマスから女性の様子が変わって...

インターネット上でも「泣ける」と話題になったこの小説は、幅広い年代が読める感動作なので、ぜひ読んでもらいたいです。